



九州 — 熊本県

天草更紗 染元野のや

伝統途絶えた天草更紗を復興  
新たな柄を創案し海外発信も視野に

およそ450年前、キリスト教伝来とともに多くの南蛮文化が日本にもたらされ、各地でさまざまな発展を遂げた。伝統が途絶えてしまったものも多いが、なかには現代人の手で復活した例もある。熊本県天草でキリシタンたちのオラショ（祈り）とともに育まれた天草更紗はそのひとつだ。



天草の文化と歴史を表現した「平成の天草更紗」の柄のコースター

正確な記録は残されていないが、ヨーロッパや中近東、インドなどの更紗が長崎に伝わったのは桃山時代のこと、天草更紗は江戸時代寛政初期にはじめて制作された。天草更紗の復興は、2002年に天草更紗は再度復活した。「平成の天草更紗」を染める

のは、天草市佐伊津町の工房「野のや」主宰の染色家、中村いすずさんだ。「20年前に天草更紗と出会ったとき、私は当時の人々が見たこともない異国の動物や花鳥の柄、鮮やかな色彩や布の美しさに心奪われた様子を想像し、不思議な魅力を感じた」と話す。天草市や文化協会から復元の依頼を受け、「誰かが手掛けなければ」という思いに駆ら

太鼓判押します!!



天草市地域振興部 地域政策課 主事 山並令彦さん

異国情緒の雰囲気漂う天草更紗の小物は、天草の旅の記念にピッタリです。築100年の古民家を利用した工房と併設されているカフェで地元食材を使ったランチやスイーツを楽しむのもオススメ。

「20年前に天草更紗と出会ったとき、私は当時の人々が見たこともない異国の動物や花鳥の柄、鮮やかな色彩や布の美しさに心奪われた様子を想像し、不思議な魅力を感じた」と話す。天草市や文化協会から復元の依頼を受け、「誰かが手掛けなければ」という思いに駆ら

代表の自社採点	
企画開発	☆☆☆
営業力	☆☆
成長力	☆☆☆☆
収益力	☆☆
地域貢献力	☆☆☆
人材力	☆☆☆☆
専門性	☆☆☆☆
リサーチ力	☆☆☆
計画性	☆☆
リスクマネジメント	☆☆

■会社概要  
所在地・熊本県天草市佐伊津町221212  
090-8393-7001 / 設立2002年 / 従業員3名  
<http://www.sarasa-nonyo.com/>



「野のや」の中村さん親子。娘の野乃花さんはギャラリーに併設されたカフェなどを担当している

れ天草更紗に取り組むことを決めたという。以来、わずかな文献資料や数少ない作品を元に文様の復元をはかり、約7年の歳月を経て天草更紗を現代に甦らせた。さらに中村さんは伝統を基盤とした新たな柄を創案、天草四郎や聖杯、南蛮渡来の古楽器やいちじく、ギヤマンなどをモチーフとした「平成の天草更紗」を生み出した。

消滅と復興を繰り返し、現代において新たな生命を吹き込まれた天草更紗。最近では中村いすずさんは、その魅力を海外へ向けて発信することも視野に入れているという。キッカケ



「野のや」外観

代表のひとこと

QRコード対応のキータイ  
電話でご覧いただけます。

は(二財)海外産業人材育成協会(HIDA)の「ふるさと名物応援事業」という取り組みを知ったことだった。「日本に関心を持つ海外人材(マーケティングアドバイザー、メディア関係者など)を国内各地に派遣し、独自の視点で日本の地域資源の魅力を発掘させ、海外での市場開拓を目指すというプログラム。天草ならではの南蛮文化にまつわる商品を扱う数社にも声を掛けて応募したところ、幸いにもこのプログラムに採択された」という。海外人材の受け入れや天草ブランドPRなどの準備はまだこれからだが、「この取り組みを一過性のものにはしたくない。天正少年使節団が持ち帰った印刷機で日本初の活版印刷本をつくり全国に広めるなど、天草は多くの文化の発祥の地。そんな天草の地域資源を、特産品としてだけでなく歴史や意義も含めた文化として継続的に発信していきたい」と意気込んでいる。かつて日本に伝わった文化が形を変えて世界へと羽ばたいていく日が待ち遠しい。